

感できて満足感も◎

使用シーンを問わずに  
車をベストコンディションに!!

*Les Pléiades Zéro 0W-30*



SUBARU純正プレミアムオイル  
レ・プレイアード・ゼロ 0W30

- ベースオイル PAO
- SAE粘度 0W-30



**SCOOP!!!!**

CB18エンジンオーナーに朗報  
0W20のレプレが  
近日発売予定!?



※写真はイメージです

**SUBARU**  
**Les Pléiades Zéro**  
**0W-20**

- ベースオイル Gr.III + PAO
- SAE粘度 0W-20 ■ACEA規格 C6

現行のレヴォーグ、フォレスター、アウトバックに搭載される新型エンジン「CB18」は、より低燃費を狙ったエンジン特性に合わせて低粘度の0W-16というオイルが使われている。そんな新型車に対応した0W-20粘度の新しいレ・プレイアード・ゼロがSUBARU純正プレミアムオイルとして年内に発売するのではないか?との情報が入ってきた。0W-30同様に、SUBARU技術本部の評価・認証を取得。水平対向エンジンのパーツ保護性能と省燃費性能を高次元で両立。さらにエンジン内部をクリーンに保つ清浄性能が高く、長期間良いコンディションを保つことができると、0W-30のプレミアム性をCB18エンジンに最適化し、さらに進化させたプレミアムオイルになりそう。CB18オーナーは今後の情報にアンテナをバリバリにはって待とう!



# 違いを体 季節や スバル



低燃費やエンジン保護などの日常使いから  
スポーティな走りまで  
幅広く対応

トタルエナジーズが開発し、SUBARU技術本部が、評価・認証を行ったエンジンオイル、レ・プレイアード・ゼロOW・30は、SUBARU純正指定の化学合成油。225時間のエンジンベンチ試験をクリアしたSUBARU水平対向エンジンのベストチョイスともいえるエンジンオイルだ。

これまでEJターボエンジンに乗ってきた人にとっては粘度が低めとなるOW・30は、積極的には選びにくい粘度規格にみえるだろう。特に気になるのは高温時の性能。しかし、レ・プレイアード・ゼロOW・30は、一般的なOW・30のオイルより、高温時の油膜が17%厚く、エンジン保護性能が高い。その数値はOW・40や、5W・40相当のイメージとなる。それでいて低温時のオイル流動性も優れており、冬の気温が下がった環境でもエンジン始動時の摩擦を低減する。加えて低回転から高回転までフリクション(粘性抵抗)が少なく、優れたエンジンレスポンスも実現する。

水平対向エンジンは、ピストンが左右に動くため、油膜を均一に保持するのが難しい。特にターボエンジンでは、高温・高回転・高負荷という環境に置かれる場合があり、従来は高粘度のオイルで油膜保持をしてきた。しかし、それはより高い摺動抵抗を伴いやすく、燃費悪化につながる選択でもあった。それをOW・30という低粘度でありながら、広い温度域で高い油膜保持を可能としている。

スバル車、水平対向エンジンの最適解であるレ・プレイアード・ゼロOW・30。これまでは、新型スバル車に多く採用されているCB18搭載のレヴオークやフォレスター、アウトバックには対応していなかったが、ついにOW・20という粘度の新製品が、間もなく発売予定というビッグニュースも飛び込んできたので注目だ！

